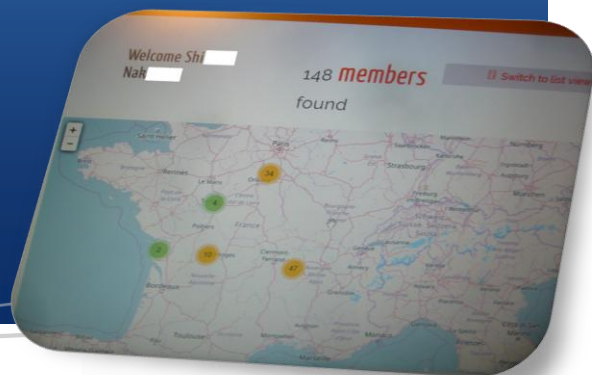


中国四国支部会報

仙台会議/福島:飯館村レポート

HOST LIST は、SERVAS ON-LINE へ

来年の1月ごろには、各国の電子版 HOST LIST の情報が SERVAS ON-LINE SYSTEM (SOL) に移行する見込み。インターネットを使ったこのオンラインシステムにより、自分の情報を修正・追加したり、旅行を希望する場合は、氏名・都市名などの文字検索や地図上に示される情報をもとにホストを探し、Eメールで連絡できるようになる。使い勝手がよくなり、安全性も向上します。(日本サーバス本部 IT 委員長)



既存の印刷版 HOST LIST 印刷代(¥450)が不要になったので支部活動費に充当

第39回日本サーバス国内会議が3月18/19日、仙台市で開かれ、本部は、2017年度予算案として、支部負担金(¥400)とホストリスト印刷代(¥450)を合算した¥850を支部負担金として、本部が支部から徴収し、本部が本部役員(8名)の国内会議旅費を全額負担し、支部役員の旅費を各支部が全額負担するという予算案を発表した。

これに対して、私は発言を求め、サーバス本部が不要になった印刷代(¥450)を何ら協議もせず勝手に合計して支部負担金としたことに強い不信感を表明。不要の印刷代なら「年会費」を値下げせよと迫った。さらに印刷代を本部役員の旅費全額に充当することには納得できないと訴えた。東北支部(会計)からは厳しい財政状況から支部存続も難しく負担金の支払いを猶予したいという発言もでて、会議は紛糾した。

議論の末、議決した結論は、各支部の負担金を¥400とし、旅費補助はこれまで通り、本部役員と支部役員にそれぞれ旅費の1/4ずつ補助することが議決された。不要になったホストリスト印刷代(¥450)は支部活動費に充当されることになった。(支部長)

サーバス会長は「公開質問状に対する見解」の中で、2011年度の議事録から名誉会長と顧問は本部役員ではなく、議決権を持たないことを確認したと報告し、3月のEメール「名誉会長も定足数に含まれ、国内会議の議決権があるぞ」について、明確に否定した。

仙台会議:一口メモ

- 本部役員** 会長、副会長、会計、IT 担当ら本部役員全員が2018年まで2年留任に
- NPO 加入** 本部と支部に二分され、本部問題と会計報告に課題あり、時期早々
- ML 議決** 国内会議での協議事項以外の小さい項目についてメール議決も可能に
- 会則改定** 会則改正案、内規追加案(委任状など)の提案は、取り下げられた
- 会員数** 北海道(11)、東北(17)、関東(63)、東海(38)、近畿(43)、中国(19)、九州(48)



庭先にある「除染土砂の袋」、 飯館村の「家並み保存」を

仙台での国内会議の後、3月20日、私たち：九州支部会員、近畿支部会員、中国支部会員らは、福島市の東北支部会員さんの案内で、原発事故のため全村避難した飯館村に向かった。その途中、荒涼とした広い田畑には、除染した土砂を詰めた黒いビニール袋が見渡す限り並べられている。TV では見たことがあるが、やはり、衝撃は大きい、掲示板の放射線線量(0.30 μ Sv/h)の文字が飛び込む。思わず息を止め、原発事故の怖さを実感した。

飯館村周辺の町を通過した時、住宅の庭の隅に除染した黒い土砂袋が置いてあるのに気が付いた。狭い道路脇の手の届くところにも、私たちは車から降りて恐る恐る歩いて見た。もちろん、色も匂いもない。“除染土砂の線量”は家の庭先よりも高いはず、その近くで住民が生活せざるを得なかった。それは、余りにも除染土砂が多く地域の集積地はすぐ満杯になり、自宅から出た廃棄物をやむなく庭の隅に埋めたり置いたりして、今日に至ったとのこと。このたび、政府と東電が「宅内除染土砂」の運び出し作業を始めた。6年もの間、除染土砂のそばで暮らしたお年寄りや子供らの健康に影響はないだろうか？

飯館村の「広報いいだて」：放射線測定値(1m の高さ、3月2日)から、(1) 除染していない宅地は、0.84, 1.12, 1.10, 0.95 μ Sv。(2) 除染済み宅地は、0.36, 0.20, 0.50, 0.18 μ Sv。宅地の表土や雨水溝の土砂を除去すると、放射線量は確かに下がるが、ゼロになるわけではない。



保存された 広島原爆ドーム

広島市では、戦後、「原爆ドーム」を取り壊すか、保存するかで論争があったそうです。結局、高校生らの保存運動が実を結び、現在に至っています。広島には「原爆ドーム」があるから世界各地から旅行者がやってきます。写真やビデオよりも、何も語らない「原爆ドーム」が旅行者の胸にぐさっと刺さるのです。我が家の体験ですが、アメリカ人の女性トラベラーは、帰宅後、夕食が喉を通らなかった。



私たちは4月から避難指示が解除される直前に飯館村を訪れた。* 除染作業で生じた膨大な量の汚染土砂の黒い袋の山が積み上げられたままになっている。避難指示が解除されても、人口減や高齢化・経済再生の困難から、帰還予定者は関係する地域全体で10%に満たない(* 毎日)。

不気味な「家並み」に 思わず涙がこみ上げる

誰もいない飯館村の家並みが続く、ついさっきまでそこで生活していた家々を見ると、涙が出るような悲しさと憤りが込み上げてくる。この時、大きなショックと責任を感じた。この大きな「衝撃」を世界の人々に伝えなければならない。「空虚になった生活実感のある家並み」をそっくりそのまま保存してください。昨日まで我が家で暮らしていたのに、原発情報のない中、とにかく避難しなければならなかった人々の気持ちを思うと、原発事故の怖さが肌に刺さります。「何も語らない家々」が写真やビデオよりも多くのものを伝えている。(支部長)

NEWS LETTER (Apr.2017)

CHUGOKU & SHIKOKU Region

In March 18 and 19, Annual Meeting of SERVAS JAPAN has been opened in Sendai. Seven regions coordinators, head office member and some observers in totally about 20 persons were participated in this meeting.

Topic: Digital Host List will be revised Servas on line system (SOL), using WEB Internet in the next year. You can get your host information on the map connected to WEB Internet by using your mail address. This Servas on Line system (SOL) will be more easy to access and safety.



*Servas on-Line System
will be easy to access.
You can get host information
on the map of your
visiting country.*

After the Meeting, we visited IIDATE village in Fukushima with three Servas members who come from Miyazaki, Kobe and Hiroshima on Mar20. Mr. Nakayama guided us around IIDATE village. He was a Fukushima Designated Local Guide. The all IIDATE villagers were evacuated from the accident of Atomic Power plant. We were surprised that too many contaminated soil were isolated in wide land such as a large desert tract. In this area, radiation dose showed $0.30 \mu \text{ Sv/h}$.

When we drove in a small town, we looked at the contaminated soil package which was kept in the side of the garden, they lived in daily life. It is clear to contaminated soil has a higher radiation dose than that of the cleaned up house. We scared about inhabitant's health.

Six years later, Ghost town is continued in IIDATE village in Fukushima, because no body could return to their houses contaminated by radiation.

We had a very big shock, and felt sad during driving around IIDATE. The Ghost town seemed tell us many stories about the disaster more than photo or video tape. I strongly propose that the Ghost town should be conserved in the present condition.

*The Atomic Bomb Dome is the most famous A-bombed building in Hiroshima, and it is a World Heritage site. Before the atomic bomb was dropped, this building was the Hiroshima Industrial Promotion Hall. As a result of overwhelming demand to save the building, the Atomic Bomb Dome remains standing as it was on August 6th, 1945. (*refer: HIP's Hiroshima Guide, 2016)

Please keep as the legacy Ghost town in IIDATE village where continue to show the people who visit from many countries the sad accident of Atomic Power Plant.